

生きづらさを抱えた若年女性とのつながりの構築

～出張相談会『ぴこカフェ』の開催～

【実施主体】東京都 豊島区

【概要】

豊島区では、生きづらさを抱える若い女性にとっての居場所として、認定 NPO 法人ピッコラーレ（以下、ピッコラーレ）に委託し『ぴこカフェ』を月2回実施している。『ぴこカフェ』では、利用者からの様々な相談にスタッフが対応するとともに、必要に応じて行政等の支援につなげるなど、行政による支援が届きにくかった若年女性との接点としても機能している。

【大綱の分類】

分類を選択してください。（最大3つまでチェックを付けてください）

- 1. 地域レベルの実践的な取組への支援を強化する
- 2. 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
- 3. 自殺総合対策の推進に資する調査研究等を推進する
- 4. 自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る
- 5. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する
- 6. 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする
- 7. 社会全体の自殺リスクを低下させる
- 8. 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ
- 9. 遺された人への支援を充実する
- 10. 民間団体との連携を強化する
- 11. 子ども・若者の自殺対策を更に推進する
- 12. 勤務問題による自殺対策を更に推進する
- 13. 女性の自殺対策を更に推進する

【政策パッケージ分類】

- 基1) 地域におけるネットワークの強化
- 基2) 自殺対策を支える人材の育成
- 基3) 住民への啓発と周知
- 基4) 自殺未遂者への支援の充実
- 基5) 自死遺族等への支援の充実
- 基6) 児童生徒の SOS の出し方に関する教育
- 重1) 子ども・若者
- 重2) 勤務・経営
- 重3) 生活困窮者
- 重4) 無職者・失業者
- 重5) 高齢者
- 重6) ハイリスク地
- 重7) 震災等被災地
- 重8) 自殺手段
- 重9) 女性

【取組内容区分】

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 研修・授業等 | <input type="checkbox"/> 講演会 |
| <input type="checkbox"/> 啓発イベント | <input type="checkbox"/> 各種広報資材の作成と活用 |
| <input type="checkbox"/> 自殺に係るデータの分析 | <input type="checkbox"/> アンケート・インタビュー調査等 |
| <input type="checkbox"/> 会議・協議会等 | <input type="checkbox"/> 他部署への聞き取り |
| <input type="checkbox"/> 計画に基づく事業の進捗管理・評価 | <input type="checkbox"/> 各種ツールの作成と活用 |
| <input type="checkbox"/> ケースカンファレンス | <input checked="" type="checkbox"/> 個別相談・支援 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 訪問・同行支援 | <input type="checkbox"/> 相談会の開催 |
| <input type="checkbox"/> わかち合いの会の開催や遺族からの相談対応 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 居場所の構築と提供 | <input type="checkbox"/> パトロール |
| <input type="checkbox"/> フェンスやカメラ等設置 | <input type="checkbox"/> 手段の規制 |
| <input type="checkbox"/> 有害情報への対処 | <input type="checkbox"/> その他 |

【事業実施年度】 2021 年

【事業予算】 ￥5,008,000（若年女性支援事業予算）

【利 点】

- ▼家や家庭等に居場所のない若年女性が安心して過ごせる場を確保するとともに、悩み事等があれば気軽に相談できる機会を提供することで、支援につながりやすくすることができる。
- ▼学生や子育て世代など対象を限定せず、広く若年女性全般を対象とした居場所とすることで、支援を必要としながらも支援につながりにくかった様々な女性を、支援につなげるためのきっかけとなる。
- ▼日頃から妊産婦など、女性の相談を受けて社会資源につなげる活動を行っているピッコラレーに委託をしているため、相談に対する迅速・適切な対応が期待できる。

【実施に至るまで】

背景・必要性・理由の概要

- ①コロナ禍で生活に困窮する女性が増えている一方、区の窓口相談に来るのは男性が多く、児童福祉法の支援対象から外れる18歳以上の若年女性の相談件数が少なかった。
- ②区内の若年女性が支援を必要としている現状はあると考えられるが、区として実態を把握できていなかった。
- ③区では、若年女性が感じる生きづらさへの対策についてスピード感をもって検討することを目的に2021年1月29日にすずらんスマイルプロジェクト※を立ち上げた。①②の実態を把握し、「なんとなく生きづらい」と感じている若年女性を「たしかな支援」につなげていくための取組を推進することとした。
- ④区が把握できていない若年女性の現状を知るため、実際に若年女性を支援している民間団体等（5団体）と2021年2月9日に意見交換会を実施した。「私的なことは公的な場所で相談できないと思っている人が多く、話しやすい場所を作ることが大切」、「相談を受ける際は、安心感と、相談相手への興味関心が必要」などの意見が出された。意見交換会を踏まえ、行政として、若い女性が入りやすい場所に出張して相談ができる場所を作ることとした。
- ⑤「豊島区若年女性つながりサポート事業出張相談会等業務」委託事業者選定（公募）を行い、2021年8月に若年女性が利用しやすい出張相談会を提案したピッコラレーに委託を決定した。

※すずらんスマイルプロジェクトとは

子育て支援、保健福祉、人事、総務、広報、男女平等推進センター、自立支援、教育など、複数の課が部を超えて連携し、コロナ禍で顕在化した10代、20代の若年女性の貧困、虐待、自殺などの諸問題への取組を推進するプロジェクト。女性職員を中心とした全庁横断のプロジェクトチームとして発足。

事業計画を立てる上での工夫

▼若者が参加しやすい環境の設定

利用者が「安心・安全で自分のことを大切にしてくれる」と感じ、気軽に立ち寄れる場所を目指し、開催場所や開催日時を検討した。

・場所

参加しやすさを重視し、若者が普段から訪れる場所、かつ、行きやすい場所として池袋サンシャインシティを選定した。池袋サンシャインシティの利用に際しては関係機関に相談し、同施設内の GLOCALCAFE の一画を借りることとした。

・開催日時

区役所が開いていない時間帯でも相談できることや、休日に仕事がある方のことも考慮し、毎月いずれかの火曜日と日曜日に一日ずつ開催。

事業の具体的な内容

▼概要

・対象

10代、20代の若年女性

・場所

GLOCALCAFE の一画

(GLOCALCAFEIKEBUKURO グローカルカフェサンシャインシティアルパ店
豊島区東池袋 3-1-1 サンシャインシティアルパ1階)

・時間

15時から19時（占いなどのミニイベントを行う場合は、16時から18時のように時間を区切って実施）

・スタッフ

ピッコラーレの職員5～6名で対応。（現場責任者1名、相談員3名程度、受付1名）

スタッフは助産師、保健師、看護師、社会福祉士、カウンセラー、心理士、教員などの資格を有し、普段、妊娠に関する電話相談やメール相談、同行支援等を行っている。

・周知方法

・豊島区のホームページや SNS (Twitter、Instagram) による情報発信。

・『ぴこカフェ』にて、開催日時等の情報を得やすいようにカードを作成し配布。

・A5サイズのチラシを作成し、図書館や専門学校・大学にて配布。

▼ピッコラーレへの委託範囲

・若年女性が訪れやすい会場づくりと、当該会場における出張相談会（『ぴこカフェ』）の実施（相談対応や生理用品をはじめとした各種必要物品の配布等含む）

・毎月1回、ピッコラーレより事業実施報告として利用実績等（利用者数、利用者からの相談件数および内容、このうち内容に応じてつなぎ支援が必要となった件数等）に係る報告をしてもらっている。

▼利用の流れ

①受付

・検温、消毒、アンケート回答（アンケートは利用者私用携帯から Web 上で回答。年齢・職業や相談内容などを入力。）

②案内

・グランドルール（『ぴこカフェ』内で聞いた話など個人情報の扱いや、他の利用者とのかわり方など、利用にあたっての約束事）の説明

・相談員がアンケート内容を確認

・利用者に飲み物等の受け渡し（希望者のみ。飲み物等の費用は事業費から支出。）

③相談・カフェの利用

・利用者は落ち着いた環境で自由に過ごすことができる。（相談等の希望があればスタッフが相談に応じる。）

・相談せずに過ごすことも可能。

・生理用品や他団体からの寄付により洋服も提供しているため、持ち帰ることも可能。

④退室

- ・利用した感想を、Web フォームから回答（任意）できる。

『ぴこカフェ』受付から見た店内の様子



▼実績

①利用者数

- ・令和4年度（4月～1月）：延べ181名（うち初回利用者56名）

②利用者属性

- ・年齢層：20代前半、10代後半、20代後半の順で多く、30～40代は少数。
- ・居住地：区内に通学・通勤、または交通機関の乗換で池袋地区を利用する人
- ・その他：専門学校・大学でチラシを配布していることもあり、大学生の比率が高い。学生以外としては、仕事に就けない方、非正規雇用者、アルバイト等が多く、正社員はわずか。
『ぴこカフェ』自体は、豊島区民、東京都民以外の方も利用可能。
妊娠や中絶、居場所の相談を通じて、元々ピッコラーレとつながっていた人や池袋サンシャインシティを利用中に通りがかりに立ち寄る人もいる。

③相談内容

- ・緊急性の高いものから慢性的な悩みの相談まで多岐に渡る。
- ・主な内容は以下のとおり。
 - ・自身の身体について（生理や妊娠、避妊、持病など）
 - ・精神的な不安と複合した不安について（自傷行為、性依存など）
 - ・対人関係について（友達、パートナー、親、職場関係など）
 - ・生活について（家庭でのトラブル、困窮、教育虐待など）
 - ・その他の悩み
 - ・上記が複合した悩み など

④対応方法

- ・専門機関につなぐ必要がある場合は、ピッコラーレが支援機関に連絡を取り対応する。（豊島区外・東京都外在住者も同様）
- ・支援機関の窓口が閉まっている時間帯であれば、後日別の時間帯で対応する。

『ぴこカフェ』店内全体の様子



選べる生理用品コーナー



【成 果】

- ・利用者にはリピーターも多く、『ぴこカフェ』が若年女性にとっての安心・安全な居場所として定着・機能している。
- ・カフェの利用を通じてスタッフと関係性が構築される中から、悩みや問題等について相談をする方もいるなど、これまで支援につながりにくかった若年女性を行政の支援につなげるための接点として機能している。
- ・ヤングケアラーとして家庭の問題を抱えている女性を早期に弁護士につないで対処した事例など、課題を抱えた女性に対して、専門機関と連携して迅速・適切な対応ができていること。
- ・『ぴこカフェ』は地域の様々なステークホルダーが関わり、地域の変容を生み出すことで掲げているビジョンに向かっていると感じる。また、今後も『ぴこカフェ』の取組を通じて社会や地域の眼差しを変えることができると考えられること。

【補 足】

- ▼支援を行うにあたって気を付けていること・感じたこと
 - ・家族全体に関わる問題の相談があった際に、行政に適切につなぐ必要性を感じた。
 - ・相談者が自分自身で対処可能なことに配慮して、支援の範囲やあり方を工夫することが必要。
- ▼利用者の属性について
 - ・利用者の中には豊島区内に住民票がない方も多く含まれるが、区ではそうした方も区民と位置づけ事業を展開している。

【課 題】

- ▼豊島区内に住民票を持たない方の利用が多いため、住民票のある方の参加を増やすとともに、今後も区周辺で課題を抱えているものの支援につながっていない方を、適切な支援につなげていく必要がある。
- ▼参加者が増加傾向であり、場所の確保も含めて今後の展開を検討しなければならないが、利用者の居場所として馴染んできた場所であるため、対応には配慮が必要。

【事業種別】	自殺予防相談支援事業・対面型相談支援
【準備期間】	34日
【人 数】	2人（担当職員）
【人口規模】	283,595人（2021年4月1日現在住民基本台帳人口）
【財政規模】	¥135,792,000,000（2021年度一般会計当初予算）
【自治体負担率】	50%（補助金名：地域女性活躍推進交付金）
【事業対象】	生きづらさを抱える若年女性
【支援対象】	生きづらさを抱える若年女性
【委託の有無】	有（認定NPO法人ピッコラーレ）
【実施主体・問合せ先】	TEL：03（4566）2475 東京都豊島区 子ども家庭部子ども若者課 Mail：A0017309@city.toshima.lg.jp

【参考資料・文献】

①すずらんスマイルプロジェクトホームページ

<https://www.city.toshima.lg.jp/suzuran/smile/index.html>

②豊島区【若年女性つながりサポート事業】出張相談会『ぴこカフェ』レポート

<https://www.city.toshima.lg.jp/000/kuse/suzuran/2110111543.html>

③認定 NPO 法人ピッコラーレホームページ

<https://piccolare.org/>